

赤岳・阿弥陀岳 山行報告

【山域】 八ヶ岳連峰

【日時】 2019年12月14日～15日

【参加者】 CL 佐藤(健) SL 澤田(淳) 江橋 宮城(記録)

【タイム】

14日(土) 美濃戸口 6:40～7:40 美濃戸山荘 8:00～10:20 行者小屋 11:20～文
三郎尾根～赤岳山頂 12:50～地藏尾根～行者小屋 15:20

15日(日) 行者小屋 7:20～分岐 8:40～9:25 阿弥陀岳山頂 9:50～御小屋尾根
～美濃戸口 14:20



【報告】

13日(金)

21時に船橋を出発し、中央道で「道の駅こぶちざわ」へ。プチ宴会後に仮眠しました。

14日(土)

復路の関係で、本日は下の駐車場から重荷で出発です。

しばらく歩いていると後ろから一台の車がやってきます。

「土屋しゃーんっ！」

素晴らし過ぎるタイミングに黄色い声を張り上げ、皆のザックを上駐車場まで運んで頂きます。

例年だと雪原らしい南沢は、暖冬の影響でほぼ茶色。歩きにくい道となっております。

まだ着かないの？と思いながらトボトボ歩き続けて、やっと行者小屋へ到着。

テントを設営し、文三郎尾根へ向かいます。

少し強風ながらも綺麗な青空で、階段のマムート象さんに癒され登っていきます。

ところが、赤岳山頂で記念撮影をした直後に天気が急変。

辺り一面が真っ暗になって、(私的には)台風かと思うレベルの強風に。

ホント、お山の天気は気まぐれですよ。

休憩もそこそこに地藏尾根を下っていくと、ある事に気付きます。

「顔、痛くない・・・。」

サングラスを忘れた私は、CLから借りたゴーグルを装着してます。

いつもは、ヨシキの特価バーゲンで手に入れた子供用ゴーグルな私。

ちょっとでも太ろうもんなら、はみ出た顔肉に容赦なく雨風の攻撃を受けるのですが、大人用ゴーグルだと、こんな強風でも痛くないのです。

お山の道具はせこくケチらず、自分に合っているものを選ばなくちゃなのね。

今更ながらに学んだのでした。

大人用ゴーグル



どんどん強まっていく横殴りの風に、ふと目の前を見るとCLのアドバイス通り、えばけんが耐風姿勢で止まっています。

もちろん正しい選択なのですが、止まると風に抵抗できず飛ばされそうになります。
チビっ子どすこい安定型の私でもそうだから・・・と後ろを振り返ると、極細縦長フォルムの淳子さんが飛ばされかかっています。

止まって強風をやり過ごすにはある程度の目方が必要なのでは・・・。

ごめん！と心で謝って、えばけんをやり過ごして前進すると横ブレは楽になります。

ケースバイケースだとは思いますが、尾根上などでは耐風姿勢を取りつつも、前進する推進力で強風に対抗できるかも？と感じたのでした。

お地藏様に手を合わせた後は、樹林帯でホッと一息。行者小屋までサクサク降りて、他のチームを待ちます。

行者小屋の水場は冬でも豊富な水量で、冬期トイレは二つ開いています。

テント泊でも安心ですね。

夜は新人からベテランまで、カマテンに 19 人がすし詰め状態で楽しく宴会です。

食担の皆さま、ごちそうさまでした。

15日(日)

朝食を各々取ってテントを撤収、皆で記念撮影してから出発します。

昨日とは打って変わって、穏やかな山行日和の本日。

脚にも心にも優しい夏道からのスタートです。

山頂前に中岳と阿弥陀岳の間のコルで、美し過ぎる富士山に遭遇！

急登の前ですが、俄然テンションが上がります。



山頂は手袋なしで休憩できる無風・暖かさで、360度の景色を堪能できます。
美景で胸いっぱいのは降るだけ～、るんるん。

気持ちを緩ませていると、御小屋尾根は一筋縄ではいきません。
茶色に紛れた薄い積雪の下、つるんつるんの氷の畏が潜んでいるのです。
昨日から酷使している太ももが悲鳴をあげて頑張るのですが、たまに出てくる登りに、
いちいち悪態をついてしまうのは仕方ありませんよね。
そして、おおよそ雪山とは思えない土ホコリにまみれた私達。
待っていたのは、膝にも腰にも優しくないアスファルトの舗装道路だったのでした。
今回は、望年山行に参加させて頂き、とても楽しかったです。
山行を企画してくれたCL、一緒に登ってくれたお二人、ありがとうございました。

望年山行の広報、準備など、色々とやってくださった、かをるさんとリヨンちゃん。
本当にお疲れ様でした。

